

# 第2 金光丸

学年目標 目で聞き、心で考え、すぐ行動 思いやり高め合う学年

第2学年 学年通信

No. 4 6月28日

〈学校教育目標〉

豊かな心を持ち、夢に向かって

努力する生徒の育成

## 1学期を振り返ろう

部活動の大会や期末テストを終え、少し心のゆとりもできていることでしょうか。あとわずかです。1学期も終わります。夏休みを「充実したもの」とするために、1学期の学習や生活への取り組みを振り返ることが大切です。心で考え、成長を目指し、よりよく行動していきたいものです。

### ハンセン病学習を振り返って 『ハンセン病学習』の数時間を振り返って」抜粋

- ハンセン病だけでなく、差別や、人権をなくすようなことは、この学習を通して本当にしてはいけないことだと改めて思い、相手の気持ちを考えてしっかりこれから生きていきたいです。
- 「こんな信じられないようなことがあったんだ。」「絶対にくり返したくない。」と最初から最後まで思いました。特に印象というか頭に焼き付けられているようなことは、感染力が弱い、治る病気だということを知ってもなお、ハンセン病患者とその家族が差別・偏見の対象になっていたということで、本当にそうさせた国もうわさや見たものだけで判断する人々の意味が分からなかったです。(中略)でも今は本当のことを知り、理解しようとしている人が増えてよかったです。私も小さなことでも人を傷つけることは絶対にしないようにしたいです。
- 相手のことを考えて行動できる人になりたいと思いました。
- (差別や偏見を)なくすためには、正しい知識をもつことが大切だと思いました。
- 誰もが差別偏見の目を持っているという言葉が確かにそうだなととても思い心に残りました。(中略)改めてとても命は重く、大切なものなんだなと思いました。ハンセン病のことを決して忘れないようにしたいと思いました。
- この学習で、体験者や入所者の話や生い立ちを見て、よく知りもしないくせに、その間違っただけを人々に広めて、その人たちのせいでハンセン病になった方々が差別されて嫌な思いをしたということは本当に許せないと思いました。(中略)大切な人とも一生会えなくなって世間からも見放されてハンセン病の人たちがどんなに辛い思いをしたのか、ハンセン病の方々が苦しんで自ら命を絶った人が大勢いるのに、世界のどこかではそのことすら知らずにのんきに笑って適当に生きている人、罪を犯す人などが多くいます。だからこそ、ハンセン病について正しく知り、多くの人に伝えていくことが、せめてもの思いやりや償いだと思いました。
- これからハンセン病のような差別・偏見をなくすために、身近な、いじめをなくすことや、思いやりをもって行動すること、見た目で判断しないことなどから頑張っていきたいと思った。
- ハンセン病だけでなく、いじめや差別は絶対にしてはいけないし、無関心もよくないと思いました。日々の生活を考えて行動したいです。
- 今自分ができることは、自分と違うような人を、怖いなどと差別するのではなく、相手のことを受け止めて知ろうとすることが大事だと思いました。差別に限らず、相手にされて嫌なことはしないというのを忘れないようにしたいです。
- みんな人それぞれ違うところは認め合い、理解をすれば、ハンセン病のようなことにはならないと思いました。
- 過去を知り、現状を知り、未来へ向けて対策を練っていく必要があると強く思い、考えることができた。

## 参観日、人権講演会（6/2）へのご参加ありがとうございました。

### 「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる」腰塚勇人 氏 人権講演会

**人生を楽しむのは自分だ 自分の人生の主人公は自分だ みんな誰かの大切な命**

**自分の命の使い方 自分も自分の周りも大切にすること**

**言葉は言刃、言葉は私 話す言葉で未来ができる**

**自分の命が喜ぶ幸働 友達、家族が喜ぶ幸働を** 「講演を聴いての感想」より抜粋

- 「自分の人生の主人公は自分」という言葉や「人生の答えはスマホの中にはない」「成長・解決策は枠の外に」という言葉が特に印象に残りました。3つとも「確かに」と納得できる言葉で、当たり前ともとれるようなことなのに、案外意識していないまま毎日を過ごしていたことにこの講演を受けて気づくことができました。これからは視野をもう少し広くもち、スマホも触れる時間を短くしようと思いました。
- 命の大切さを知り、どんなに絶望的な状況でもあきらめないことが大切だと知った。
- ネガティブな考えよりポジティブに考えるほうが絶対いいと思いました。だから、私もいい方に考えたいです。
- 自分と周りの人を傷つけたらいけない（中略）優しくして励ますのが大事だと思いました。
- 決めつけや人のせいにすることで誤った情報が広まり、必ず誰かが不幸になるということを改めてはっきり知ることができた。夢があることでこつこつできる目標が見えてきて、強くなっていけるというのは自分も思っていた。（中略）腰塚さんが出してくれた祝題をこれから少しずつでも努力していきたいという目標ができた。
- 命の大切さについて改めて知ることができた。私の周りにはたくさん「ドリー夢メーカー」がいるから、自分も誰かのドリー夢メーカーになりたいと思う。
- 自分の中にはドリー夢メーカーもいれば、ドリー夢キラーもいることが分かりました。（中略）「スマホの中に自分の人生の答えはない」という言葉を聞き、（中略）自分で考えることを大切にしていきたいと思いました。夢は困難と仲間と感動でできているものなので、困難はつきものなのだと思いました。

## 時間の使い方を考えよう メディアコントロールを

時間の使い方は命の使い方。1日あたりのメディア利用の時間はどれくらいでしょうか。1日の利用時間の限度、利用してもよい時間帯などご家族で話し合い、「我が家のルール」を作り、適切に利用してください。

## 7月の行事予定

最終下校時刻 17:45

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12 給食最終	13
14	15 海の日	16 懇談 給食無し	17 懇談 給食無し	18 懇談 給食無し	19 終業式 給食無し	20
21	22 □座引落日	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

【8月の予定】7月16日号に掲載する予定です。